

令和5年度あきる野市タウンミーティング 主な懇談内容

4 あきる野市役所本庁舎5階 503～505会議室 <令和5年10月23日(月)開催>	
① JR五日市線や西東京バス等、公共交通機関の利便性について	
Q JR五日市線の東京駅直通便が廃止され、不便に感じる。	A JRにおいては、利用客数を注視しており、市としても積極的に要望を出すとともに、利用客が減らないよう取り組んでいく必要がある。また、帰りの際の拝島駅での五日市線への接続についても改善してほしいと要望している。JR側には一定の対応はしていただいております、今後も引き続き要望等してまいります。
Q 高尾地区は西東京バスが1日数本しかない。使いたいときに使えない。	A 高尾地区では、るのバスが走っている。民間のバスについては、利用者数で本数が決まってしまう面があり、鉄道駅やバス停から一定の距離にあるところでは、公共交通の実証実験をやっている。
② 地域における住民同士のつながりの形成について	
Q あきる野市は子育てしやすいまちだと思っている。他市出身だが、地元より住みやすい。移住者であきる野市が好きだという人が多くいるが、一つ一つが小さなコミュニティであり、面としてつながっていない。つながれるきっかけが欲しい。	A コミュニティの情報を知りたいという要望は多くいただいている。イベントに限らず、子育てに関する情報なども含め、情報を集約して発信できるよう工夫したい。
③ 空き家対策について	
Q 空き家の貸し借りについて、市で面接のようなことはしているのか。	A 空き家のマッチングについては、できればそうしたいが、不動産の話になるので、市としてどのように関われるか研究が必要である。移住・定住で相談を受けることができれば話をすることは可能である。
④ 市政や観光に関する情報発信について	
Q 市の広報などを見ていない、知らないという人がいる。YouTubeなどでPRできたらと思う。やはり宣伝が弱いと思う。	A 広報紙の件については、そもそも新聞を見ている人が減ってきている。これからはSNSなどで目に届くようにしていきたい。市でもX(旧ツイッター)やインスタグラムなどで発信しているが、今後、さらに研究したい。
⑤ 戸倉・小宮地区における空き家等対策について	
Q 戸倉・小宮地区では高齢化が進んでおり、今後、地区を維持していくには人の循環が一番大切だと思う。この地区を、自然公園として指定するなどして、その地域内の土地や家屋を市が借り上げて、移住・定住などに利用するなどできないか。	A 地域全体を公共化して公共が管理するというイメージかと思うが、不動産は、個々に所有権のあるものなので、一律で公共化していくということは難しい。空き家については、市内全域の問題と捉えている。今後、空き家が増えていくことは明らかであり、今から手を打たなければならない。都会に近いあきる野の立地においては、貸していただくことさえできれば、ほぼ入居につながると思う。空き家を提供いただく機運醸成を図ることがもっとも重要であり、一つの手段と思うので、検討したい。